



Title	名誉教授古川栄一略年譜
Author(s)	
Citation	一橋論叢, 59(6): 772-775
Issue Date	1968-06-01
Type	Departmental Bulletin Paper
Text Version	publisher
URL	<a href="http://doi.org/10.15057/2615">http://doi.org/10.15057/2615</a>
Right	

## 名誉教授古川栄一略年譜

明治三十七年（一九〇四年）

四月二九日 新潟県古志郡長岡町本町に生まる。

明治四五年（一九一二年）

四月一日 長岡町立表町小学校入学。

大正六年（一九一七年）

三月三十一日 同校卒業。

四月一日 県立長岡商業学校入学。

大正十一年（一九二二年）

三月三十一日 同校卒業。

大正十二年（一九二三年）

四月一日 神戸高等商業学校入学。

大正十五年（一九二六年）

三月三十一日 同校本科第二学年修了。

四月一日 東京商科大学学部入学。

昭和四年（一九二九年）

三月三〇日 同大学学部卒業。

五月一日 山口高等商業学校講師を嘱託せらる。

十一月六日 松村緑と結婚する。

昭和五年（一九三〇年）

一月二四日 山口高等商業学校教授に任命さる。

二月一日 幹部候補生として仙台歩兵第四連隊へ入隊。

二月七日 山口高等商業学校を休職、軍隊へ入営。

二月三〇日 満期退営。

二月一日 山口高等商業学校へ復職を命ぜらる。

昭和十二年（一九三七年）

二月五日 陸軍主計少尉に任命さる。

九月二九日 支那事変のため仙台陸軍病院へ応召。

昭和十三年（一九三八年）

九月三〇日 陸軍主計中尉に任命さる。

昭和十五年（一九四〇年）

四月九日 召集解除。

昭和十六年（一九四一年）

三月三十一日 東京商科大学助教授に任命さる。

五月二日 東京商科大学附属商学専門部教授を兼任。

七月一七日 臨時召集により飛行第六二戦隊へ応召。

昭和十八年（一九四三年）

三月九日 陸軍主計大尉に任命さる。

三月二〇日 召集解除。

昭和十九年（一九四四年）

三月一六日 臨時召集により鉄道第二連隊へ応召。

昭和二十年（一九四六年）

四月一五日 復員。

四月一六日 召集解除。

一一月二〇日 東京産業大学（昭和一九年一〇月一日勅令改

正により東京商科大学を改称）商学専門部教務課長に任命さる。

昭和二十年（一九四七年）

九月二九日 東京商科大学（昭和二二年三月二四日勅令第九

三号第二条により東京産業大学を改称）教員適格審査委員に任命さる。

昭和二十三年（一九四八年）

八月二〇日 公職適否審査会において非該当と判定せらる。

八月三一日 東京商科大学教授に補せらる。

昭和二十四年（一九四九年）

一月二〇日 日本学術会議会員就任（任期二年）。

二月七日 東京商科大学学務課長に任命さる。

二月二三日 東京商科大学附属商学専門部教務課長を免ぜらる。

昭和二十五年（一九五〇年）

三月三一日 文部省社会教育審議会学校開放分科審議会委員

を委嘱さる。

五月三一日 財団法人産業経理協会理事を委嘱さる。

昭和二十六年（一九五一年）

一月二〇日 日本学術会議会員就任（任期三年）。

四月一日 一橋大学教授（商学部）に配置換さる。兼ねて一橋大学東京商科大学教授に補せらる。

四月一日 早稲田大学政治経済学部講師を委嘱され、現在におよぶ。

五月一日 文部省学術奨励審議会科学研究費等分科審議会委員を委嘱さる。

一〇月一日 一橋大学如水寮および新寮の寮監を任命さる（二七年四月一日まで）。

昭和二十七年（一九五二年）

五月一日 文部省学術奨励審議会学術用語分科審議会専門委員を委嘱さる。

一一月一八日 郵政省電気通信設備評価審議会委員に任命さる。

昭和二十八年（一九五三年）

四月一日 一橋大学大学院商学研究科を担当。

四月一日 一橋大学評議員に併任さる（任期は三〇年三月三一日まで）。

四月一日 新潟大学人文学部講師に併任され、三二年三月三一日におよぶ。

五月一日 茨城大学文理学部講師に併任され、三一年三月三

昭和二九年(一九五四年)  
一日におよぶ。

五月一日 早稲田大学院商学研究科講師を委嘱され、現在におよぶ。

六月三日 商学博士の学位を授与さる。

昭和三〇年(一九五五年)

四月一日 一橋大学評議員に併任さる(任期は三二年三月三十一日まで)。

四月一日 日本国有鉄道資産再評価委員会委員を委嘱さる。

六月一八日 郵政省郵政審議会委員に任命さる。

一〇月二五日 文部省中央産業教育審議会委員に任命さる。

昭和三一年(一九五六年)

二月一日 通商産業省産業合理化審議会委員に任命さる。

三月一日 一橋大学学術講座委員に任命さる(三一年六月五日まで)。

三月一日 日本国有鉄道工場調査委員会委員を委嘱さる。

四月二〇日 大蔵省公認会計士審査会第二次試験委員に併任さる。

七月一日 文部省教材等調査研究会高等学校商業小委員会委員に任命さる。

九月一日 産業経済ならびに経営管理の調査および研究のためアメリカ合衆国へ出張。

一〇月二九日 アメリカ合衆国より帰国。

十一月五日 一橋大学評議員を解除さる。一橋大学商学部長

に併任さる。併せて一橋大学評議員および一橋大学商学部附属産業経営研究所長に併任さる。任期はいずれも三三年一月四日まで。

一月一三日 農林省農林漁業用固定資産評価審議会委員に併任さる。

昭和三二年(一九五七年)

一月二〇日 日本学術会議会員就任(任期三年)。

四月一日 明治大学商学部講師を委嘱され、現在におよぶ。

六月一五日 文部省民間学校研究機関助成協議会委員に任命さる。

昭和三三年(一九五八年)

七月一日 日本専売公社塩取納価格審議会委員を委嘱され、現在におよぶ。

一月五日 一橋大学評議員に併任さる(任期は三四年三月三十一日まで)。

昭和三四年(一九五九年)

二月七日 日本電信電話公社臨時資料調査委員会委員を委嘱さる。

四月一日 一橋大学評議員に併任さる(任期は三六年三月三十一日まで)。

五月五日 西独のハンブルクにおいて開催される国際経営学大会に出席、併せてヨーロッパ各国において経営学研究上の諸問題について連絡協議のために出張。

七月二日 帰国。

昭和三五年(一九六〇年)

一月二〇日 日本学術会議会員就任(任期三年)。

四月一日 日本資材管理者協会理事を委嘱さる。

六月一六日 日本電信電話公社電信電話料金調査会委員を委嘱さる。

一月五日 一橋大学評議員を解除さる。一橋大学商学部長に併任さる。併せて一橋大学評議員および一橋大学商学部附属産業経営研究施設長(研究所長)に併任さる。任期はいづれも三十七年一月四日まで。

昭和三十六年(一九六一年)

四月一日 社団法人日本経営士会理事を委嘱さる。

九月一日 郵政省顧問に併任さる。

昭和三十七年(一九六二年)

四月一日 大蔵省臨時しよう脳事業審議会委員に併任さる。

一〇月一七日 大蔵省専売事業審議会委員に併任され、現在におよぶ。

一月五日 一橋大学評議員に併任さる(任期は三十八年三月三十一日まで)。

昭和三十八年(一九六三年)

一月二〇日 日本学術会議会員就任(任期三年)。

四月一日 一橋大学評議員に併任さる(任期は四〇年三月三十一日まで)。

六月二三日 西独政府の招きで西独各地を視察。

七月三〇日 帰国。

九月一日 沖繩国際大学において経営学講義および琉球にお

ける経営学研究の実状調査のため出張。

九月一〇日 帰国。

昭和三十九年(一九六四年)

五月八日 通商産業省産業構造審議会委員を委嘱され、現在におよぶ。

七月三日 自治省地方公営企業制度審査会委員を委嘱さる。

昭和四〇年(一九六五年)

六月一日 日本学術会議会員候補者推せん委員会委員を委嘱さる。

七月二八日 文部省大学設置審議会専門委員を委嘱され、現在におよぶ。

八月二三日 小樽商科大学講師に併任さる(四二年三月三十一日まで)。

昭和四二年(一九六七年)

四月一日 青山学院大学経営学部講師を委嘱さる。流通経済大学経済学部講師を委嘱さる。いづれも現在におよぶ。

七月一五日 郵政省郵政審議会委員を委嘱され、現在におよぶ。

昭和四三年(一九六七年)

三月三十一日 定年により、一橋大学教授(商学部)を退職す。

四月一日 一橋大学名誉教授の称号を授与さる。